

No.17 多発している荷姿の物 - 崩壊・倒壊の死亡災害事例（2022年）

2022年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
11	12 ~ 14	ロール状のベルトコンベヤのゴム製ベルト（直径191cm、幅50.5cm）と鉄製の回転枠（乱巻き防止用に両側から挟むもの）が一体になったものを巻取機から取り外し、ベルトが接地して自立するように地面に仮置き。回転枠の一方を玉掛けして外し、地面に仮置きしていたところロールが倒れ始め、支えようと被災者が動き出したところその場で前のめりに転倒、ガイドと地面に身体を圧迫され死亡したものの。	011001	611	5	30 ~ 49
10	12 ~ 14	第一工場において3段に積み上げられた金属コンテナ（1段約90cm、3段高さ約270cm）が倒壊し、付近で検品作業していた労働者に直撃したものの。事故発生時、コンテナ内には建設機械用部品が保管されており、その重量は1段目約1150kg、2段目約406kg、3段目約1350kgあった。	011002	611	5	100 ~ 299
8	12 ~ 14	被災者は、工場の冷凍庫内に保管してある商品を取るため、同庫内に立ち入ったところ、倒れてきた袋物の荷（鯖）の下敷きとなったもの。冷凍庫内では、同僚の労働者がフォークリフトを用いパレット上に積まれた袋物の荷（鯖）の運搬を行っており、運搬中の荷の横に約3.6mの高さまでパレット3段積みで重ねられていた荷の最上段が何らかの原因で倒れ、被災者が下敷きとなったもの。	010102	611	5	100 ~ 299
7	12 ~	資材置場において、被災者がフォークリフト（最大荷重2500kg）を使用して結束した型枠資材を約3mの高さまで積み上げたのち、フォークリフトの運転席から降り、手作業で積み上げられた当	030201	611	5	10 ~

	14	該型枠資材の位置を整えていたところ、当該型枠資材が倒壊し、下敷きとなったもの。				29
6	8 ～ 10	工場内でトラックに束ねた鋼材（長さ9m、幅20cm、厚さ11mm、重さ169kg／1枚）を積み込む作業中、トラック脇に積み上げていた鋼材（高さ1.76m）が倒壊、当該鋼材に手をかけていた被災者が下敷きとなり胸部を圧迫され、死亡したもの。	011209	611	5	10 ～ 29
6	10 ～ 12	被災者は、プレスされた古紙の塊（1つ当たり縦102cm×横118cm×奥行172cm、重量1.09t）（以下「古紙」と記す）を場外に搬出するための準備作業中、古紙にまぎれた異物を発見し1段積みされた古紙上へのり、この除去を行っていた際、付近に3段積みされた古紙の上部2段が崩壊し下敷きとなり死亡した。	080109	611	5	1～ 9
4	8 ～ 10	製品原料の穀物（玄米）をフレキシブルコンテナ（フレコン）をパレット上に載せた状態でリーチフォークリフトで取り扱う作業での災害。パレットを2段積み上げた状態で、下段のフレコンが破損し内容物の玄米が流出したため、フレコンを補修しようとしたリーチフォークリフト運転者の被災者が接近した際に、上段のフレコンが落下（はいの崩壊）し、被災者がその下敷きになったもの。	010109	611	5	30 ～ 49
4	12 ～ 14	被災者はフォークリフトで倉庫内のフレコンバッグ（粉末クエン酸1トン入り、パレットごと4段積みのはい、高さ4m強）を出庫していた。隣の4段積みが出庫対象にもたれかかり運び出せない箇所の確認をしようと下車した時、当該もたれていた3・4段目が被災者の方に崩れ落ち、2.5m離れた位置で4段目の下敷きとなった。声を聞いた同僚が救出したが、骨盤・頸椎・右足の骨折等を負い、後日死亡した。	050101	611	5	1～ 9
2	16 ～ 18	フレキシブルコンテナを3～4段に積み重ねて保管している倉庫でフォークリフトを用いて製品の出荷作業を単独で行っていたが、最下段のフレキシブルコンテナが破れたため処置していた際、上段のフレキシブルコンテナが崩れて下敷きとなったものと推定される。	040301	611	5	10 ～ 29

2	14 ～ 16	<p>配送先において、2トントラックに積まれた荷（地盤の沈下防止に使用する樹脂製敷板、1枚当たり約21キログラム）が荷台内で複数枚倒れ、荷と荷台側面間にいた被災者が胸部を挟まれた状態で発見されたもの。</p>	040301	611	5	1～ 9
---	---------------	--	--------	-----	---	---------

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html>(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_03.html